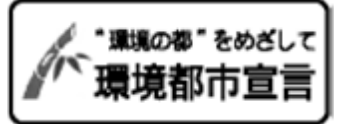


環境の都ニュース

2015. 1. 1 NO. 79



発行：長岡京市
環境の都づくり会議
発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えの心からお喜び申し上げます。

長岡京市では、平成25年3月に「第二期環境基本計画」を策定いたしました。この計画の大きな特徴は、「“環境の都”ステップアップ・チャレンジ」でございます。市民や事業者、市民団体、行政が協働で取り組むことで、より大きな成果につながることを期待される行動を提起しております。昨年は、皆様方との協働により、そのステップアップ・チャレンジで新たな取り組みが始まりました。「長岡京環境検定」と「省エネナビモニター」であります。9月に実施いたしました「長岡京環境検定」では、10代から80代まで幅広い年齢層の方にご参加をいただきました。「省エネナビモニター」事業では、電気使用量を計測でき、いわゆる電気の「見える化」が可能な機器をご家庭に取り付け、夏期の節電に取り組んでいただきました。その結果、昨年度同時期に比べ、各家庭平均で12.4%の削減が達成され、大きな効果が得られました。現在は、冬期の節電に向け、新たなご家庭がモニターとして取り組んでおられます。

今年は、平成13年度にスタートした第3次総合計画の最終年度を迎えるとともに、平成28年度から15年間にわたる今後の長岡京市のまちづくりの方向性を定める次期総合計画の策定の年でもございます。昨年は、市民アンケートや団体ヒアリングを通して、皆様方から貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。その市民アンケートでは、嬉しい結果も出ております。市の政策において、満足度が最も高かったのが、「緑豊かな環境づくり」で、2番目が「環境保全型社会の形成」、3番目が「安定した水の供給」、4番目が「水環境の整備」と上位すべてを生活環境分野が占めております。また、長岡京市で自慢・誇りに思うことについても、「季節の花々」や「緑の景観」が上位に位置しており、長岡京市民の皆様が自然環境・生活環境への関心の高さがうかがえるとともに、“環境の都”を目指す本市の取り組みへ一定の評価をいただいているものとありがたく思っております。

一方、地球温暖化に伴う気候変動により集中豪雨等の異常気象が世界的に広がる中で、それぞれの国や地域において未来へ向け持続可能な社会形成のため、抜本的な環境対策の取り組みが、今日ほど早急かつ強力に求められている時はないと思います。

今後も環境の都づくり会議の皆様をはじめ市民の皆様と連携、協働して“環境の都”長岡京市を目指したまちづくりに邁進してまいりたいと考えております。

この新しい一年が、皆様にとりまして実り多く、環境の取り組みが希望に向かって大きく前進する年になりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

長岡京市副市長 戸田雄一郎



環境の都づくり会議ブース



～第6回環境フェア～

子ども環境フェスティバル



今回のビオトープ P J T は「竹炭」つながりで



竹炭の焼き初め？を

11月5日(水)今年になって最初の竹炭焼きを行いました。今回は竹材を一斗缶に詰めて窯に入れ、直接炎が当たらないように工夫して焼くことに挑戦してみました。メンバーの人も初めての体験の炭焼きになりました。

ビオトープ P J T 小根田



写真①

第六小のすくすく教室

11月8日(土)、第六小のすくすく教室の子供たちを河合竹林で竹炭焼きの体験をしてもらいました。

参加者 子供12名、父兄9名、教育委員会1名、スタッフ4名

写真①; まずは竹切りの体験、全員切った竹をお土産にしました。写真②; 竹炭焼きの窯から実際に炭を取り出してもらいました。窯の中にもぐり込んで炭の取り出しを体験しました。写真③; 全員で記念撮影。最後には竹炭をお土産に持って帰りました。



写真③



写真②

ビオトープ P J T 小根田

第四小すくすく教室

本年最後のすくすく教室を河合竹林で実施。平成26年12月6日(土) 晴れ、午前中の教室。参加校: 長岡京市立長岡第4小学校、参加人員: 児童8名、父兄4名、スタッフ3名、計15名。竹林 P J T チーム: 5名。

活動内容: 1. 紙芝居 自然環境のお話(写真1)、2. 竹炭焼き窯より竹炭の取り出し、お土産に竹炭を贈る(写真2)、3. 一輪差し筒、花植え筒、貯金筒を作る。作品はお持ち帰り(写真3)、4. 弓的当て(写真4)、5. 焼き餅のおもてなし。

ビオトープ P J T 西村孟雄



写真1



写真2



写真3



写真4



京都環境フェスティバル(2014)でオオタカクイズと里山工作を実施



12月13日(土)~14日(日)、京都パルスプラザにて里山再生 P J T 5名(古澤、大藪、上田、瀧、加藤)は竹で作ったオオタカを展示、オオタカクイズと里山工作を実施。工作メニューは①ヒノキ輪切りミニリース②マツボックリミニツリー③ドングリワッペン④木の枝ペンダントで合計70人につくって貰いました。…写真左

オオタカについて: よく食物ピラミッドの頂点に描かれている猛禽類です。カラスより少し大きいぐらい、小鳥、ネズミ、ウサギなどを食べます。鷹狩にも使われています。鳥類は一般に環境に対して、とてもきびしいすみわけをすることが多いので、その地域の環境を知ることの代表選手なのです。最近では少し生息数が回復したことが報告されています。西山でもよく観察されています。オオタカに襲われたカラスを見たことがあります。

里山再生 P J T 古澤、加藤



エコチーム PJT



長岡京方式で省エネにチャレンジ！～結果の報告とお誘い～

夏の部の結果：9世帯平均12.4%削減

チャレンジされた9世帯で平均10%以上の電力の削減が出来ました。殆んど前夏と変わらなかった家庭もありましたが何と29%も削減された家庭もありました。一人当たりの電力使用量が約25kWh/月の家庭と450kWh/月の家庭もあり平均は約150kWh/月で今夏を乗り切りました。戸建と集合住宅そして世帯人数によっても一人当たりの使用量に違いがあることも明らかになりました。住環境や多世帯・生活スタイルの見直しが必要でしょうか？ 冬季も引き続き楽しくチャレンジ中ですが興味あるご家庭の参加を期待しています。長岡京市と環境の都エコチームを含む省エネアドバイザーがサポートします。

エコチームPJT 中田利享

モニター	平均削減率(%)	世帯人数	住居形態
Aさん	-7.1	4	集合住宅
Bさん	-26.9	2	戸建て
Cさん	-1.8	2	戸建て
Dさん	-9.6	5	戸建て
Eさん	-10.7	4	戸建て
Fさん	-13.0	2	戸建て
Gさん	0.1	2	戸建て
Hさん	-13.8	2	集合住宅
Iさん	-29.0	4	集合住宅



環境教育 PJ



第77回 環境教育ミーティング 開催のお知らせ (参加のお誘い)

テーマ：地球にやさしいエコライフ～できることから実践しよう！～

日時：平成27年 1月15日 (木) 夜7～9時、
 場所：長岡市立 中央公民館 2階/講座室
 講師：長岡京市女性の会さん

《 入場無料 》

お話の内容：①スライドで7年間の活動内容を紹介、
 ②環境紙芝居の上演、③省エネアンケート、
 ④リサイクルおもちゃ「マンカラゲーム」で遊ぶ
 プロフィール：長岡京市女性の会は、平成20年度から地球温暖化防止の学習を行い、家庭の省エネを実践しています。また、会員や市内の小・中学校などにゴーヤの苗を配り、グリーンカーテンづくりを通して環境啓発を行ってきました。
 「みんなで節電、スマートに省エネ。今すぐ始めようCO2削減！」を合言葉に、地球のため、未来のために活動しています。

環境教育PJT 西村日出男



環境紙芝居

ロープブランコ



すくすく教室の学習風景

竹林再生 PJT



金ケ原憩いの森、すくすく教室でお披露目！！

金ケ原竹林の整備作業の一環として取り組んできた憩いの森フィールドアスレチック、竹林再生メンバーの悪戦苦闘で2年の時間をかけてやっと完成。滑車を使ったロープウェイ、高さ4mのロープブランコ、ハンモックブランコ、竹の一本橋、急な竹林道の探検遊びなど、自然の地形や樹木を活かしたオリジナルな遊具がいっぱい。

勿論、トイレも。
 11月8日には、神足小学校の児童達(3～5年生31名)を迎えて待望の

すくすく教室を開講。大人の想像を超えた子供たちの遊びに驚かされ、賑やかにコースを楽しんでくれる姿に長年の苦労も吹き飛ばす思いでした。随行頂いた父兄の方々からは色々なご意見やご提案を頂き、実り多いお披露目になりました。

皆さん、是非一度、手作りの金ケ原憩いの森に遊びに来てください。お待ちしております！！

竹林再生PJTリーダー 湯川圭造



竹の工作



正月飾りつくり

記念撮影

新年を迎える行事として、暮れの25日に恒例の正月飾りつくりを行いました。緑のサポーターを中心に女性15名、男性15名が集まり、56基を完成して、日頃連携するグリーンハウス、体育館、公民館にも寄贈しました。竹の切り出し、カット、縄巻き、花木の採取に3日をかけて当日にこぎつけました。これからは手に入れにくい20cmを超える太さの孟宗竹のポットと、縁起の花木10種の採取は男性陣の心意気プレゼントです。緑のサポーターとして一年間汗をかいて花の手入れをした男女メンバーはワイワイガヤガヤとにぎやかな雰囲気の中、趣向を凝らして飾りつけ、活動のご褒美として誇らしく持ち帰りました。予想外の盛況に、懇談の場も持てず、材料が不足した反省も残ります。



花を咲かそうPJT 奥西弘武



作品



トピック



(有)永原造園

新年号より長岡京市で「Ecoに取り組むお店や会社」を紹介するコーナーを開設しました。第1回は(有)永原造園さんをご紹介します。

創業は昭和14年乙訓村井ノ内（現在の長岡京市井ノ内）で現社長の祖父にあたる永原広一さんが植木屋『植広』を開業され、今年で76年の歴史を積まれてきた老舗の造園屋さんです。現在3代目社長の永原剛さんは『植広』の伝統を守る一方、革新的な経営に取り組まれ着実に業績を上げておられます。特に社会や地域との繋がりを大切にされておられ、平成24年12月にはKES環境機構より「KES環境マネージメントシステム」の認定を取得され、環境管理体系（PDCA）を経営管理に活用されています。

省エネ・省資源・リサイクルで取り組むテーマを設定され、まずは身近な剪定材の有効利用、業務車のガソリンの節約、市街地の清掃作業への参加などを全社員の皆さんが積極的に進めておられます。

お仕事柄、剪定材は年間約36ト、排出されますが、その剪定材の50%をチップ化し、その後で約1年掛けて自社で堆肥化を行い、出来た堆肥物を地域の田畑の土壌改良剤として有効利用に取り組まれており、残り50%は木材チップ回収会社に搬入され、熱エネルギーとしてサーマルリサイクルを行い、化石燃料によるCO2排出量の削減に寄与されています。永原社長のお話では、樹木を整備する役割を担う造園業者として、市街地に緑を取り戻し、潤いのある社会が形成される事によって、「地球温暖化の防止に少しでも寄与できれば大変嬉しい」、又、「地域特産の竹林の整備にもお役に立ちたい」と熱く語っておられました。



長岡京市井ノ内南内畑25 (有)永原造園 代表取締役 永原 剛 Tel:075-951-0505

★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内 容	連絡先	T E L
里山再生PJT	里山再生	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
		E mail : sun246ra@mbox.kyoto-net.or.jp	
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープ	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治	957-6169 FAXも同じ
		E mail : egawam@kyoto.zaq.ne.jp	

事務所：多世代交流ふれあいセンター内 (〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。アドレス= <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円（一口以上） あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記（文；山本） この冬も知り合いに好物の干し柿をもらいました。孫は興味を示したものの食べません。市中や郊外には放置された柿の実があり、見るたびに「もったいない」、でも郊外のは野生生物の貴重な食料で「放置」が良いのでしょう。生物共存も環境課題ですねえ